

一般質問の要旨



一般質問とは、議員が市長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。

第4回定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。なお、※印の用語は4面に解説を掲載しています。スマートフォンなどをお持ちの方は、タイトル内の二次元コードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。



長友市長4期16年の 長期市政について問う

狩野 明彦 (自由民主党創政会)



問 人口減少時代に向けた公共施設・公的不動産のマネジメントについて①総量の抑制方法は。②民間活力の活用の方針は。

行経部長 ①各施設の利用把握とあわせ、人口見直しなど長期展望を持ち対応②多様なPPP・PFI手法の導入を検討する。

問 次期基本計画について①策定方法は②地域経済に関するデータの収集方法は。

行経部長 ①施策横断的な課題や新たな課題を踏まえ、30年代を展望した計画を策定②地域経済分析システムの活用など、客観的データを収集・分析。

問 長友市長出馬時の「4期16年」は誰が担っても長すぎるのか。15年前のその主張について、忘れるということはない。

問 「4期16年」は誰が担っても長すぎるのか。①今でも長すぎるのか。②市民への訴えとして公約と考えてもいいか。

市長 ①全国的に見て短くはないと認識②過去発言への批判も踏まえ市民に判断されると認識。

問 誰が担っても長すぎる、4期16年の改革は①どのようなものであったのか②市民との対話は十分になされたのか。

市長 ①聖域のない事業見直し、持続可能な市政経営を推進②直



電子版ヘルスケア事業と イベント備品の充実について問う

鈴木 宗貴 (自由民主党創政会)



問 2019年・2020年に向けて、外国人居住者とともにインバウンドに対し、受診をサポートする医療通訳士派遣事業の展開について考えを問う。

福祉参事 国や都の動向、外国人患者受け入れ医療機関の認証を受けた病院の整備・状況などを注視し、医師会等と連携し、必要性を踏まえて検討する。

問 奈良県生駒市では企業が開発した電子版親子手帳を導入し、成長記録や予防接種管理、行政情報の発信、祖父母など家族間での情報共有等を行っている。また、低コストで利用ができ、今後、多言語化の対応も図る。

問 2019年・2020年、そして、日々様々なイベントでにぎわうことになる調布駅前広場完成に向け、市民の多様なイベントを更に活



市役所庁舎

接対話の機会を不断に重ね、市民と市政の距離を縮めてきた。御自分で多選に反対されていた過去に対して、今ほどのように考えているのか。

市長 整合性への批判については自問自答することがある。市民、有権者の判断に委ねる。

問 私から多選の批判はしないが、多選の弊害への考えは。

市長 自由闊達な意見がない風潮にならぬよう肝に銘じている。

問 聴覚が不自由な方でも映画を楽しめる技術開発が進んでいる。専用のスマートフォン普及と映画配給の字幕付を促進させるため、調布を舞台に試験的上映が進められるよう市は積極的なアプローチをしていくべき。

産業部長 誰もが映画を楽しめる環境づくりは重要と認識。スマートフォンでの実験的上映の検証結果や製品の開発状況などを注視し、映画業界や障害者支援団体、関係機関と連携を深める。

問 行事開催においては日本語のほか、多言語でも同期字幕通訳が可能となる技術開発も進んでいる。市が自治体として法人



聴覚バリアフリーで映画のまちを ユニバーサルデザイン都市に

平野 充 (公明党)



契約し、市内各行事を主催・共催・後援することで、市内の多くの現場で同期字幕通訳ができる。実用化に向けた市の見解は。

福祉部長 聴覚障害者等の協力を得ながら試験的に検証。講演会や介護施設などにおける音声変換技術の活用方法も検討する。

生文部長 同時通訳等への活用などについて、他団体での実績等を調査研究し外国人観光客をお迎えする環境づくりに努める。

問 多様な保育ニーズに応えるためには市が配置する保育コンシェルジュのスキルが重要。派遣会社から1年契約での雇用ではなく、市が直接雇用する形態

シアタス調布 (トリエ京王調布C館)



調布市商工まつり (平成15年)

発にする支援として、既存備品とともにベンチや大型テント、発電機など災害時にも有用なイベント備品の充実について問う。

副市長 イベント備品は災害時活用のほか、帰宅困難者の駅前滞留者対策などにも有効と認識。災害時対応では、各部所管の資機材や備品等についても有効活用することになっている。今後、イベント備品の充実についても災害時の運用も考慮して検討。

問 正式に認可されている多摩川住宅街づくり協議会について、街づくり準備会から今日までの取組みについて問う。

市長 住宅再生目指し、まちの将来像等の検討や28年の街づくり提案の市への提出を経て、現在統一感ある街並み形成を検討中。多摩川住宅再生に向けた都市計画決定を、団地の建てかえ事業の決定とされている住民もいる。地区計画の都市計画決定をした現時点の到達点は、全体の流れからどの段階にあるか。

都整参事 都市計画の決定は、多摩川住宅の再生に向けた最初の段階。建てかえを見据えた諸



多摩川住宅の再生にかかわる現状と 今後について問う

榊原登志子 (チャレンジ調布21)



条件が整い、具体的な検討が可能となった。マンション建替組合の設立などが次の重要な段階。

問 優良建築物等整備事業などの公的支援を含めた今後の取組みについて問う。

都整参事 優良建築物等整備事業等の直接的な公的支援は、財政的負担が多いこと等で難しい。街づくりに向けた景観形成等の検討を進めている。住民発意のまちづくりを掲げている中で市が行えるであろう間接的支援は、

都整参事 各分譲管理組合などと協調した整備が重要。調和し



多摩川住宅

若者への支援と

文化施設の活用を問う



須山 妙子(公明党)



問 若者人口の減少は著しい。全国自治体は若者に支援のアプローチ。若者支援の市の考えは。

市長 困難を有する若者への支援とあわせ、若者の活躍や社会参画を後押しする観点から支援。SNSを通じて9人の若者の殺害事件が発生。SNSを利用した支援は欠かせない。長野県ではLINEを利用した相談窓口を開始。市での支援は。

子ども部長 子ども・若者総合支援事業(こあでは、メールでも相談受付。国や都の動向を注視し相談事業を充実。

問 マイナンバーでログインする子育てワンストップサービス

は、児童手当や保育園の申請が自宅で行える。市での活用は。

行経部長 マイポータルでサービス検索や申請様式の印刷に対応。今後も市民の利便性向上に向け、総合的に検討を進める。

問 SNSを通じて9人の若者の結婚や出産は一生の記念。開催地である市独自の婚姻届・出生届作成の予定は。

市民部長 五輪・パラリンピック記念デザインを含め、市の魅力をPRできる婚姻届等を検討。

問 武者小路実篤記念館でのゲームとのコラボ企画の成果と今後の連携は。

教育部長 武者小路実篤を知ら

ない多くの若い世代が来館。今後も時代感覚に沿った事業展開や情報発信に努める。

問 郷土博物館で、昔使った道具を前に高齢者同士の会話が弾む環境を整備し、高齢者施設などと交流・協働を進めては。

教育部長 ちょっと昔の暮らし展では、DIYサービス行事で来館する高齢者も多かった。今後も福祉施設等と連携・交流図り、幅広い年齢層への事業を実施。

問 後期基本計画策定に向けて、修正基本計画の29年度現時点までの進捗は。

行経部長 総体としてはおおむね計画どおり着実に進捗。引き続き計画の成果向上に取り組み。市税収入に支えられた勤労者のまち、一人として漏れることなく市民の誰もが安心して暮らせるまち「調布」の将来都市像について、改めて確認したい。

市長 これまでのまちづくりの成果や市民の思いを継承し、新調布のまちの骨格づくりを前進させ豊かさを実感でき安心して住み続けられるまちを目指す。

問 市政運営のコンセプトである「市民の安全・安心の暮らしを守る」「参加と協働によるまちづくり」を改めて確認したい。

市長 市民生活を大切にすることは市政経営の原点。参加と協働のまちづくりは一貫して市政経営の基本に据え、その考えを理念とする基本条例も制定した。今後予想される大幅な負担増から市民を守るため、更に暮らしに思い切ったソフトさせた財政フレームとすべきでは。

行経部長 税制改正や消費税率引き上げの影響等見込み、市民生活支援に継続的に取り組むことを基調に財政フレームを作成。

問 調布飛行場の小型航空機墜

市民の誰もが安心して暮らせる

「後期基本計画」策定を



雨宮 幸男(日本共産党)



落事故について、住民説明会での都の報告・提案の概要と、それに対する市としての評価は。

市長 都は遊覧飛行の実態に関する管理体制を謝罪。評価はするが、市としてはまことに遺憾。

問 住民説明会での質問や意見などを踏まえ、今後への課題をどのように捉えているか。

行経部長 都が示した諸課題解決の取組みの実効性確保に向け、近隣市と連携し都との協議対応

ぜび議会の傍聴を
紙面では伝わらない議会を体感できます。

市議会の本会議や委員会・全員協議会は、ごなため傍聴することができません。事前の予約は不要(手話通訳・要約筆記は要予約。左記参照。)で、受付順に入室を御案内します。途中の入退室も可能です。

会議を傍聴することで、市議会の活動を肌で感じていただけます。皆様の御来場をお待ちしています。

○傍聴定員
▽本会議
・一般席 50席
・車椅子傍聴席 2席
・車椅子介助者席 2席
▽委員会・全員協議会
10席程度(会議内容などにより変動する場合があります。)

○本会議の傍聴で手話通訳・要約筆記を希望される場合
傍聴希望日の3日前(土曜・日曜・祝日を除く。)の午後4時までに、①手話通訳・要約筆記どちらを希望するか②住所③氏名④傍聴希望日時や内容(例)○月○日の午前、△△議員の一般質問等)⑤連絡先・連絡方法を記載の上、ファクス・Eメールなどでお申し込みください。

☎042-481-7291
☎042-481-5119
✉gikai@w2.city.chofu.tokyo.jp
30年第1回定例会は、3月1日(木)から開会予定です。会期日程などは、2月28日(水)までにホームページに掲載予定です。
http://www.city.chofu.tokyo.jp/

市民の歌「わが町調布」の啓発と

期日前投票の充実を



橘 正俊(公明党)



問 市民の歌「わが町調布」について、これまでのような啓発の取組みをしてきたのか。

総務部長 小学校の社会科副読本で歌詞と楽譜を掲載、防災行政無線で市内全域に定時放送等。

問 市民の歌「わが町調布」がどれくらいの市民に認知されていると捉えているか。

行経部長 ホームページの「わが町調布」は一定の閲覧実績あり。今後も認知度向上に努める。

問 市民の歌のミュージックビデオ制作を提案するが、見解は。

市長 市が保有する映像素材等を活用し具体的な検討を進める。

問 期日前投票率が他市より低い原因をどう認識しているのか。

選管局長 他市の事例も調査研究し、投票環境の向上に努める。

問 29年の衆院選では期日前投票の最終日が大変混雑したが、選挙管理委員会としての対応は。

選管局長 受付用パソコンの増設、職員などの増加配置で対応。

問 期日前投票で市役所食堂が使えなくなった場合、どのような基準で新会場を選定するのか。

選管局長 バリアフリーであり、オンライン設備が設置でき、市役所から近いことなど。

問 18歳選挙権の投票率はまだまだ低い。大学進学などで親元を離れ、住民票を移さず投票に



「わが町調布」のレコード

行かない人もいる。どのような啓発をしているのか。

選管局長 居住地ではなく出身地に住民票がある場合、不在者投票が必要。市内及び近隣大学の学園祭などで投票方法についても周知・啓発に努めている。

問 主権者教育について、選挙管理委員会としての見解を問う。

選管局長 大変重要と認識。教育機関などと連携し、政治意識向上のきっかけづくりに努める。

問 子育て環境における公園の役割について、市の見解は。

市長 遊びの効用は全ての子どもにとって必要不可欠。遊ぶ機能を有する公園は非常に重要。

問 市では子どもの人口が増加、園庭のない保育園が増加している。公園利用の状況と課題は。

環境部長 多岐の目的で利用傾向、一つの公園を複数の保育園で利用。対象年齢を広げると乳幼児が利用しにくいことが課題。

問 乳幼児期、学童期等で公園遊びは大きく違う。住民や子育て施設等要望把握し公園整備を。

環境部長 意見交換会を開催し市民等の意見を取り入れ、対象



市内の保育園

年齢に合わせた整備や遊具の配置などを検討。

問 調布駅周辺は子どもの遊び場がない。調布駅前広場や線路敷地整備の際に、公園機能や市民がくつろげる空間の設置を。

都整部長 調布駅前広場はプレゾーンの設置を検討。鉄道敷地は順次、緑道空間を創出。

問 次期基本計画に身近な公園の整備を位置づけては。

環境部長 緑の基本計画を踏まえ、次期基本計画を見据え検討。

問 保育園待機児童対策と同時に保育の質の確保が重要。国が進める規制緩和は、最悪の場合子どもの死亡事故にもつながる

●「年」及び「年度」については「平成」を表記していません。



岸本 直子 (日本共産党)

教師の多忙化解消、学びの格差・貧困対策、 学校図書館の充実を



問 学校教育について①教師の長時間労働が深刻化。九都府市首脳会議の提言にある教職員定数の充実、事務スタッフの確保や事務の効率化は重要。少人数学級の拡充などあわせ改善すべき。市の見解と対策は②小・中学校に通い切れず生きづらさを感じている若者の例を踏まえ、学びの格差への市の認識と対策を問う③学校図書館法の改正にあわせ、学校図書館専門嘱託員の名称を「学校司書」に変更し、法制化にふさわしい働き方と処遇の改善を。

教育部長 ①各児童・生徒に応じた指導ができる少人数学級は重要と認識。毎年、都市教育長会を通じて国や都に少人数学級推進を要望。今後も必要な教員の加配や少人数学級推進を継続的に要望する②教育の機会均等を確保し、環境整備を図ることが必要と認識。各学校での対応のほか、福祉部門でも学習の機会を確保。今後学習機会の確保と充実が福祉部門と連携図り検討③名称変更は検討が必要と認識。力が発揮できるように司書教諭等との連携を一層図り、職務内容や他市の状況を踏まえ処遇改善についても引き続き検討。

問 28年に国会で歩行者の安全確保と無電柱化について法制化



市内の学校図書館

されたが、無電柱化推進のあり方検討委員会中間報告では努力項目として各自治体に計画策定が掲げられている。歩行者の安全確保と国や都の動き、これまでの対応と見直しについて問う。

都整部長 新設都市計画道路などの無電柱化を実施中。幅員が狭い道路などの無電柱化を進めるため国等が新たな技術開発を推進している。今後も道路状況に応じた調査研究を進める。



丸田 絵美 (チャレンジ調布21)

住み慣れた地域で自分らしく暮らせる 高齢者施策を問う



問 市の認知症対策・方針は。

福祉部長 認知症施策推進総合戦略に基づき、認知症の人や家族のニーズ把握し施策展開を図る。

問 徘徊高齢者探知システムの検証は。何も持たずに徘徊する高齢者の探索に効果が期待できるGPS内蔵の靴もあるが、助成の検討を。認知症患者が事故などを起こした際の法的責任は監督義務者が問われる。他市では介護者救済に保険加入の動きあり。市も取り組むべき。

福祉部長 GPS機能付きの徘徊探知機貸出事業は実施中。ICTを活用したシステムの有効な手法を調査研究。保険補償は

他自治体事業の効果を検証し、支援方法を研究。

問 住宅用火災警報器は事業開始から10年経ち、耐久年数から誤作動等のおそれがあるためメンテナンス呼びかけを。自動通話録音機貸与の効果と取組みは。

危管部長 住宅用火災警報器の維持管理は市報等で広報。自動通話録音機は65歳以上の高齢世帯を対象に約500台設置し有効な被害防止策として認知。都の補助事業で実施しており継続要望。

問 運転免許証返納を後押しする体制を整えることが必要では。

都整部長 交通網の段階的拡充目指し返納サポートにつなげる。

問 福祉のことを何でも相談できる地域福祉コーディネーターの配置に地域格差が大きいため拡充と健康施策の格差是正を。

福祉部長 次期地域福祉計画に基づき段階的に配置。市内10カ所の地域包括支援センターで地域における介護予防活動を推進。

問 本格的な少子高齢社会を目前にして、市は何をすべきか。

市長 自分らしい暮らしが継続できるよう、取組みを推進。



大河巳渡子 (元気派市民の会)

市長みずから自治基本条例にある 参加と協働のまちづくりの実践を



問 市民の暮らしを守る観点から住民の支え合いをどう構築していくのか、市長の基本的見解は。

市長 横断的連携のもと、総合的に施策展開し市民生活を支援。

問 福祉3計画に地域包括ケアシステムをどう位置づけるのか。

福祉部長 共通理念に包括的に支援する体制などを位置づける。

問 地域福祉コーディネーターに対する評価と今後の配置は。

福祉部長 幅広い活動で着実な成果。各圏域へ段階的に配置。

問 調布駅前広場空間の整備を、市長みずから公開の場で市民に説明すべき。その時期にきているが、対話の意思があるのか。

市長 更に市民意見を踏まえた対応が必要と考える。説明する場面を必要に応じて適時設定。

問 30年度予算見積もりの乖離額は。予算枠を設定すべき。

行経部長 歳出約1千7億円、歳入約905億円、約101億円の財源不足。財政フレーム基本に精査。

問 高齢者総合計画にケアラー(介護者)支援が明記。地域福祉計画等にも位置づけ、介護者を含め市民誰もがその人らしく暮らせる地域づくりを目指すべき。

福祉部長 誰もが被介護者・介護者となり得る昨今、介護と介護者の社会化が必要。ケアラーも自分らしい生き方ができるよ



二宮 陽子 (生活者ネットワーク)

見えない害「香害」から 健康を守るために



問 「香害」とは、柔軟剤や合成洗剤など強い香りを伴う製品による健康被害のことで、化学物質過敏症であるため、誰でもいつでも発症する可能性がある。健康被害から市民を守るため対策を講ずるべき。市の認識は。

副市長 香りのもととなる香料と健康被害との因果関係は不明な部分が多く、現状ではいわゆる香害の診断基準や対策は定まっていない。国などの動きを注視し、必要な情報収集に努める。

問 調布小学校では、2003年にシックハウス症候群による子ども健康被害が認められ、ガイドラインが作成された。子どもたちが長時間過ごす学校で香害対策を進めるべき。学校での対応の状況は。

教育参事 17年度に市立学校での対応マニュアルを策定し、室内の換気などのほか薬品、芳香剤や教職員化粧品の対策に努め等を示し化学物質の対策に努めてきた。引き続き児童・生徒の健康に関する状況を把握し、きめ細かな対応に努める。

問 職員は直接市民と接するため、化学物質過敏症の市民への配慮が必要。研修などで現状を正しく理解し、周知徹底を。

環境部長 28年度から市職員を対象に、化学物質過敏症などに



「香りのエチケット」啓発ポスター (埼玉県)

関する有識者による講演会を実施。今後も研修などの機会を通して必要な情報提供に努める。

問 埼玉県ホームページからは理解促進のためのポスターがダウンロードできる。市でも理解促進のポスターを作成し、庁内や公共施設へ積極的な掲示を。

生文部長 今後も情報収集に努めるとともに、国民生活センターなどの動向を踏まえ、市民に対する必要な周知に努める。

う、次期地域福祉計画に位置づける。福祉3計画と連携して施策を実施し、取組みを進める。

問 市民誰もが身近に迫る介護問題について詳しい知識を持っている訳ではない。介護フェアは市民に求められる喫緊のイベント。市主催で開催を求める。

福祉部長 2025年問題を見据え、介護や認知症等の課題に市民の関心高め、支え合いの意識醸成のためイベント等取組みを推進。

問 27年に厚生労働省が関係府省庁と共同で策定した計画。「認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進」等7つの柱からなる。

2025年問題 団塊の世代が75歳以上となり、医療費や介護費などの社会保障費の急増や医療・介護サービスの不足が懸念される問題のこと。

ガチョラ 映画のまち調布応援キャラクタ。調布エフエムの市制施行60周年記念ラジオ番組「高寺成紀の怪獣ラジオ」内で誕生。「カメラ」、「調布(チヨウフ)」、「ラジオ」のそれぞれの頭文字から命名。

用語の解説

医療通訳士 語学・医療・文化に関する知識を学び、能力を身につけ医療通訳士検定試験などに合格した専門の通訳者。

スマートグラス 現実風景に、文字や映像を重ねて表示可能な眼鏡型端末の総称。

優良建築物等整備事業 市街地環境の向上と良質な市街地住宅の確保を推進していくため、国・地方公共団体が必要な整備助成を行う制度。一定の空地確保、土地の共同化、高度化などに寄与する優良な建築物等を支援。

子育てワンストップサービス マイナンバー制度のインターネットサービス。子育て関連の申請手続で、サービス検索等出産や育児に係る一連の行政サービスのワンストップ化を図るもの。

ちよつと昔の暮らし展 毎年3学期に、小学校3年生の郷土学習にも資することを目的として開催している郷土学習展。

わが町調布 市制施行20周年を記念し、市報で広く公募して、明るくみんなが歌える「市民が創る調布市民の歌」として、昭和50年10月に制定した。

認知症施策推進総合戦略 27年に厚生労働省が関係府省庁と共同で策定した計画。「認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進」等7つの柱からなる。



調布駅前広場 (30年1月、東側から撮影)

校庭や園庭の砂ぼこり等の対策と

高齢者支援の充実を



内藤美貴子(公明党)

問 砂ぼこりやぬかるみ対策のため、小・中学校校庭や保育園園庭の土壌改良を進めるべき。

教育参事 防じん性・透水性の状況を検証し、様々な舗装仕様を調査研究し他の学校に活かす。

子ども部長 先進事例の調査など、良好な保育環境の整備に努める。

問 災害情報なども取り入れた携帯電話・スマートフォンの活用講座の再開を。

生文部長 関連部署などと検討。

問 認知症の不明者対策について①認知症徘徊模擬訓練の実施を②地域の協力で行方不明者を捜索する徘徊SOSネットワークの構築を③徘徊者の位置情報

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

を早期に把握する、実用的な情報機器の導入や方策の検討を。

福祉部長 ①地域包括支援センターや地区協議会が中心となり29年度は3回開催。今後も取組みを推進②地域住民、介護関係者や警察などが連携して、ネットワーク構築を見据えて見守りや支え合いの機運醸成を図る③新機器の有効性の検証に努め、早期発見に取り組む。

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

問 介護人材の確保について①特別養護老人ホームにおける人手不足による空きベッドの現状は②福祉人材育成事業における人材確保の取組み、都との連携、潜在的有資格者への取組みは③

オリパラのおもてなしは、花いっぱい子ども笑顔と歓声で



大須賀浩裕(自由民主党創政会)

問 映画のまちについて①シアタスタブとの協働策は②調布駅周辺に映画を象徴するデザインを③市内各駅や観光ポイントに俳優やモニユメントなどをちりばめて回遊してもらう戦略は。

産業部長 ①調布PR動画、ゲゲゲ急での鬼太郎アニメ上映②映画スクリーンを模した街区案内板設置や、カチヨラの路面標示を施した③回遊性も考慮したまちなか演出を引き続き検討。

問 FC東京について①試合に市民と子どもたちを招待する考えは②市長は夫婦で試合を特別招待席で観戦しているが所見は。

生文部長 ①FC東京の意向を

問 調布駅前広場について①駅前広場の仮設トイレ設置の考えは②子どもたちの笑顔が見られて歓声が聞ける施策は。

問 調布駅前広場について①駅前広場の仮設トイレ設置の考えは②子どもたちの笑顔が見られて歓声が聞ける施策は。

問 調布駅前広場について①駅前広場の仮設トイレ設置の考えは②子どもたちの笑顔が見られて歓声が聞ける施策は。

問 調布駅前広場について①駅前広場の仮設トイレ設置の考えは②子どもたちの笑顔が見られて歓声が聞ける施策は。

問 調布駅前広場について①駅前広場の仮設トイレ設置の考えは②子どもたちの笑顔が見られて歓声が聞ける施策は。

介護離職福祉士等届け出制度の普及啓発を。

福祉部長 ①過去5年間はなし②各種研修に加え福祉実践フォーラムを開催、都福祉人材センターと共催で福祉の仕事相談・面接会を年1回実施③幅広く効果的な周知方法を検討。

問 要支援の人に家事援助する認定ヘルパーの積極的な啓発を。

福祉部長 養成研修は3回実施。多様な手段で広報に努めている。



市内の中学校校庭

市民の利便性を

より一層向上させる取組みを



清水 仁恵(チャレンジ調布2)

問 マイナンバーの活用は住民の生活向上、行政運営の効率化を図るもの。コスト削減効果は。

行経部長 市民の負担軽減とあわせ事務の効率化が見込まれ、相応のメリットがあると認識。

問 マイナンバーカードの普及促進と市独自活用について①受領窓口の休日・平日夜間拡充を②住民票などコンビニ交付サービスは、より多くの証明書が取得できるようにすること。また、手数料にも配慮を。

市民部長 ①休日は第2土曜日、第4日曜日に実施。交付時間等の拡充は近隣自治体の取組みを踏まえ検討②導入当初は住民票

問 マイナンバーの活用は住民の生活向上、行政運営の効率化を図るもの。コスト削減効果は。

行経部長 市民の負担軽減とあわせ事務の効率化が見込まれ、相応のメリットがあると認識。

問 マイナンバーカードの普及促進と市独自活用について①受領窓口の休日・平日夜間拡充を②住民票などコンビニ交付サービスは、より多くの証明書が取得できるようにすること。また、手数料にも配慮を。

市民部長 ①休日は第2土曜日、第4日曜日に実施。交付時間等の拡充は近隣自治体の取組みを踏まえ検討②導入当初は住民票

問 マイナンバーの活用は住民の生活向上、行政運営の効率化を図るもの。コスト削減効果は。

行経部長 市民の負担軽減とあわせ事務の効率化が見込まれ、相応のメリットがあると認識。

問 マイナンバーカードの普及促進と市独自活用について①受領窓口の休日・平日夜間拡充を②住民票などコンビニ交付サービスは、より多くの証明書が取得できるようにすること。また、手数料にも配慮を。

市民部長 ①休日は第2土曜日、第4日曜日に実施。交付時間等の拡充は近隣自治体の取組みを踏まえ検討②導入当初は住民票

問 マイナンバーの活用は住民の生活向上、行政運営の効率化を図るもの。コスト削減効果は。

行経部長 市民の負担軽減とあわせ事務の効率化が見込まれ、相応のメリットがあると認識。

問 マイナンバーカードの普及促進と市独自活用について①受領窓口の休日・平日夜間拡充を②住民票などコンビニ交付サービスは、より多くの証明書が取得できるようにすること。また、手数料にも配慮を。

市民部長 ①休日は第2土曜日、第4日曜日に実施。交付時間等の拡充は近隣自治体の取組みを踏まえ検討②導入当初は住民票

問 マイナンバーの活用は住民の生活向上、行政運営の効率化を図るもの。コスト削減効果は。

行経部長 市民の負担軽減とあわせ事務の効率化が見込まれ、相応のメリットがあると認識。

問 マイナンバーカードの普及促進と市独自活用について①受領窓口の休日・平日夜間拡充を②住民票などコンビニ交付サービスは、より多くの証明書が取得できるようにすること。また、手数料にも配慮を。

市民部長 ①休日は第2土曜日、第4日曜日に実施。交付時間等の拡充は近隣自治体の取組みを踏まえ検討②導入当初は住民票

問 マイナンバーの活用は住民の生活向上、行政運営の効率化を図るもの。コスト削減効果は。

行経部長 市民の負担軽減とあわせ事務の効率化が見込まれ、相応のメリットがあると認識。

あわせ、新たな収納方法を検討。問 駅周辺駐輪場に電子マネー決済システムの導入を。

都整参事 今後、導入・運営経費などの条件を整理し検討。

問 学校給食費を公金とし、保護者の利便性向上や教職員の負担軽減につなげては。

教育参事 教職員の働き方改革からも検討が必要と認識。個人情報取扱いや債権管理体制などが課題。引き続き調査研究。



市内駐輪場精算機の電子マネー決済システム

子ども現計画を見直すべき。賛成 公明党

本補正予算の歳出には特定財源の確保もあり、市にとって最重要課題ともいえる待機児童解消に向けた民間保育所施設整備費と保育士の処遇改善の助成費など重要な計上がある。その額は調布駅南地下自転車駐車場の修正設計費と比べても、桁違いであることがわかる。保育園の入園を待ち望む方々の思いは切実で、本補正予算は極めて重要。

議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

反対 日本共産党

職員及び市長等非常勤特別職の期末・勤勉手当引き上げに連動して、市議会議員の期末手当の支給割合を100分の40から45へと年間0.1カ月引き上げるもの。特別職報酬等審議会も据え置きを答申。市民の理解得られない。

賛成 日本共産党

社会情勢などを適切に反映するため都人事委員会勧告を踏まえ、一般職員と連動した期末手当支給割合の改定。期末手当の基礎となる報酬月額、特別職報酬等審議会での公平公正な議論。答申されるものと認識。

職員との均衡を図るため期末手当支給月数を引き上げ6万6千円増額する提案だが、特別職報酬等審議会でも市民生活・地域経済は楽観視できないなどの理由で据え置きを答申。議員報酬アップ改正に賛成できない。

反対 生活者ネットワーク

29年の特別職報酬等審議会答申では今後の財政見直しは楽観できず、据え置きとした。期末手当が報酬に連動することを考慮して、都人事委員会勧告を単純に反映すべきではなく、市民感情からしても認められない。

市長提案に対する討論

平成29年度一般会計補正予算(第4号)

反対 日本共産党

歳入歳出ともに約2億2千600万円増額するもの。歳出は主に調布駅南口の駐輪場整備に係る内容。原契約の約4千500万円に対し、設計変更約2千400万円の見積もり根拠が不明確。駐輪場出入り口やトイレの設置位置の変更の説明では、積算根拠が曖昧。新たに4本の樹木を残存させることで150台程度の駐輪スペース減少の解消方針が不明確。

賛成 自由民主党創政会

歳入歳出ともに適切に計上と認識。調布駅南地下自転車駐車場に関し、対話を欠いた市長の

行動は容認できない。苦渋の選択。次の意見を附帯●市長みずから市民と対話を●補助金確保は必須。不可能なら事業の見直し●市政情報は原則、市民及び議会に共有●工事困りは支障のない範囲で撤去●設計には駅地下通路等との連絡通路を考慮。

反対 元気派市民の会

調布駅南地下自転車駐車場工事費が含まれた補正予算。駅前広場樹木の市民要望に寄り添った提案との説明だが時点修正ではなく大幅な修正提案。百年の計とみずから位置つけた駅前広場事業の最終段階に説明責任を果たすべく行動しない市長の政治姿勢は参加と協働のまちづくりに反する。広場の全体像を明

らかにし再検討、再提案すべき。賛成 元気派市民の会

歳入歳出ともに適切な予算措置を確認。保育園待機児童対策や学校施設老朽化工事の崩壊し等を評価。調布駅前広場は、京王線地下化で生み出された南北統一の象徴。本補正は、記念樹の現位置保全等、市民要望に寄り添う内容と評価。更に、現状を上回る緑の空間創出や女性の視点の反映を。今後の市政課題への対応と財源確保を期待。

特別委員会の審査状況

各特別委員会の審査状況についてお知らせします。

調布飛行場等

対策特別委員会

○29年11月29日

小型航空機墜落事故に関して、11月21日に開かれた都による住民説明会の内容の報告を受けるため委員会を開催し、これまでの経緯や、諸課題の解決に向けて都から示された取組みなどについて、理事者から報告がありました。

委員からは、滑走路の最大限利用への対応／分散移転の促進／一般社団法人による被害者救済の仕組み／自家用機所有者等に対する保険加入の義務化などの質疑のほか、離陸前のパイロットの対面確認を求める／事故等対応マニュアルは市や市民等の意見を踏まえて策定を／都は責任の所在を明らかにし被害者の生活再建を含めた救済を行うべき／市は解決まで被害者に寄り添った対応を求める／大島空

港への自家用機移転は見通しが不明確／フェイスブックのみの運航情報の事前提供は改善を求めるなどの意見がありました。また、今回示された取組みなどに対する調布飛行場の対応状況等について、直接現地での担当者から説明を受けるため、委員会として調布飛行場の現地調査を行うことを決定しました。

○30年1月18日
調布飛行場での新たな機種種の航空機使用の協議及び諸課題解決に向けた取組みについて、それぞれ理事者から報告がありました。その後、調布飛行場の現地調査を行い、施設内の状況確認と都の担当者から小型航空機墜落事故後の飛行場の安全対策強化や管理運営の適正化へ向けた取組状況についての説明を受けました。

特別委員会とは
常任委員会とは別に、特定の案件を審査するために臨時に設置した委員会です。
○調布飛行場等対策特別委員会
調布飛行場・調布基地跡に関すること
○中心市街地基盤整備等特別委員会
中心市街地街づくり総合計画の推進・中心市街地の商業などの活性化及びその財源に関すること
○広域交通問題等対策特別委員会
東京外かく環状道路・京王線立体交差・京王線沿線の諸問題に関すること



中心市街地基盤整備等

特別委員会

29年11月13日に開催し、中心市街地まちづくりの整備経過について及び調布駅前広場(地下駐輪場等)の整備について、理事者から報告がありました。

委員からは、今回の報告が全員協議会の場ではなく、なぜこの特別委員会なのか／本特別委員会が急遽開催されるまでの手続き等についての質疑のほか、委員会への市長の出席を求める動議がありました。採決の結果、否決されました。

また、調布駅前広場の新たに残す樹木6本が地下駐輪場躯体及びロータリー形状に及ぼす影響について、駅前広場トイレの配置先／多目的広場のイベント利用時に特例許可は受けられるのかなどの質疑があったほか、必要な段階で市長がみずから説明責任を果たすこと／しかるべきタイミングで協議の場を設けることを強く求めるなどの意見がありました。

また、調布駅前広場の新たに残す樹木6本が地下駐輪場躯体及びロータリー形状に及ぼす影響について、駅前広場トイレの配置先／多目的広場のイベント利用時に特例許可は受けられる



広域交通問題等

対策特別委員会

29年12月19日に開催し、東京外かく環状道路(以下「外環道」という。)に関する現状について、(仮称)中央ジャンクションの工事現場を現地調査した後、理事者から報告がありました。

委員からは、工事に伴う地下水への影響／避難計画が策定される時期／国道20号線との地中交差部工事の安全面の確保／議会が避難計画策定を求める意見書を国に提出して以降の市及び市長の動き／地盤変動、モニタリング調査などのリアルタイムのデータ公表／市長が会長を務める市長会における外環道の安全重視を議題とする取組み／事業者が実施した訓練などの質疑があったほか、万が一の事故発

生時の補償体制について詳細を調べておくべき／住民の不安を払拭するために早急な避難計画の策定や地域住民への情報提供、補償制度の窓口の一本化を求めるべきなどの意見がありました。

29年12月19日に開催し、東京外かく環状道路(以下「外環道」という。)に関する現状について、(仮称)中央ジャンクションの工事現場を現地調査した後、理事者から報告がありました。



第12回全国市議会議長会 研究フォーラムに参加

全国市議会議長会の主催による研究フォーラムが、29年11月15日・16日に兵庫県姫路市で開催されました。

この研究フォーラムは、全国の市議会議員が一堂に会し、地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的として開催されているもので、今回で12回目となります。

調布市議会では、23年度から議員研修の一環として毎年約半数の議員が参加し、2年間でほぼ全議員が参加しています。

今回は、「議会改革―議会基本条例10年―」をテーマに、議会基本条例の制定を契機とする議会改革の成果と課題、これからの方向性などについての講演や意見交換が行われました。

また、他市議会の事例報告などもあり、課題解決の一助となる有意義な研修でした。

■研究フォーラムの内容
▽基調講演
「議会改革の実績と議会力の向上」
▽パネルディスカッション
「議会改革をどう進めていくか」
▽課題討議
「議会基本条例のこれまでにこれからの考える」

- 参加者(10人)
副議長 井上耕志
議長 雨宮幸男
大 河 幸 男
小 林 幸 男
橋 原 幸 男
二 宮 幸 男
平 野 幸 男
広 瀬 幸 男
丸 田 幸 男
井 上 耕 志
雨 宮 幸 男
大 河 幸 男
小 林 幸 男
橋 原 幸 男
二 宮 幸 男
平 野 幸 男
広 瀬 幸 男
丸 田 幸 男

議員勉強会・議員研修会を 実施しました

市議会では、市民福祉の向上を目指し、議員の政策形成・立案能力の向上を目的として議員勉強会・研修会を行っています。

受動喫煙防止策について

29年12月21日に、ちようふタバコ対策ネットワークの方を講師に迎え、市のたばこ対策について勉強会を実施しました。

様々な統計に基づき、能動喫煙・受動喫煙の問題点や、近年増えている電子たばこ・加熱式たばこの問題点、海外の動向について見識を深めました。

更に、未成年者喫煙防止教育や受動喫煙防止策、禁煙支援など、市として必要な対策の考え方も再確認しました。

今後は、五輪・パラリンピックなどを見据えたたばこ対策に活かしてまいります。

地方自治法の一部改正と議会の監視機能について

1月9日に、山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授の江藤俊昭氏を講師に迎え、地方自治法改正と議会の監視機能強化について研修会を実施しました。

議場コンサートを開催しました

29年11月30日の第4回定例会の開会前に、議場でコンサートを開催しました。

これは「市民にわかりやすく開かれた議会」を目指した取組みの一環として、より多くの市民の皆様が市議会の場へ気軽に足を運んでいただくために、桐朋学園大学の協力を得て、28年から第4回定例会初日に開催しているものです。



1月9日実施の議員研修会

今回は、弦楽四重奏により、モーツァルトのディベルティメントやわが町調布などのほか、当日が名誉市民の水木しげるさんの命日に当たることから、ゲゲの鬼太郎も演奏されました。御遺族にもお越しいただき、奥様である武良布枝さんは「主人は柄にもなくクラシックを聴くことが大好きで、赤貧洗うが如き時でも、クラシックを聴きながら執筆していたことを改めて思い出し感謝無量です。本当にありがとうございました。」と話されていました。

● 「年」及び「年度」については「平成」を表記していません。

案件に対する議員の態度

【各会派の名称と人数】

自…自由民主党創政会(10人) 子…チャレンジ調布21(7人) 公…公明党(5人)
共…日本共産党(3人) 元…元気派市民の会(1人) 生…生活者ネットワーク(1人)

第4回定例会

市長提出議案第67号は11月30日、その他の案件は12月18日に議決しました。

陳情第82号及び第85号は、委員会審査において意見が分かれ、いずれも過半数に達しないため結論を得ませんでした。

※態度表内の「議」は議長で、採決には加わりません。

議案番号等	件名	結果	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	子	子	子	子	子	子	公	公	公	公	公	共	共	共	元	生
			渡辺進二郎	小林 充夫	鮎川 有祐	伊藤 学	大須賀浩裕	狩野 明彦	鈴木 宗貴	田中 久和	林 明裕	元木 勇	丸田 絵美	清水 仁恵	井上 耕志	川畑 英樹	榎原登志子	広瀬美知子	宮本 和美	小林 市之	平野 充	須山 妙子	橋 正俊	内藤美貴子	共 雨宮 幸男	共 岸本 直子	共 武藤 千里	元 大河巳渡子
〈態度の分かれた市長提出議案〉 ○…賛成 ×…反対																												
68	平成29年度調布市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	調布市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〈議員提出議案〉 ○…賛成 ×…反対																												
14	教職員の長時間労働の実効ある解消策を求める意見書提出について	否決	×	×	×	×	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	2018年度介護保険改定において、介護報酬の増額をすることと、生活支援中心の訪問介護の利用回数制限の導入をしないことを求める意見書提出について	否決	×	×	×	×	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	「教員の働き方改革」を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	介護職員の給与改善の仕組みを求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〈請願・陳情〉 ○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 △…継続審査																												
陳82	北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情	審議未了																										
陳83	より実効性のある受動喫煙防止等のたばこ対策に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳84	調布駅前北側広場に、速やかに樹木を植えるよう要請する陳情	継続審査	△	△	△	△	△	△	議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
陳85	国民健康保険税の大幅引き上げを行わないことを求める陳情	審議未了																										
陳86	情報公開制度の不当な運用を改め、より適正な運用を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
〈満場一致で承認・可決した市長提出議案〉																												
67	専決処分の承認について	78	市道路線の廃止について																									
69	平成29年度調布市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	79・80	市道路線の一部廃止について																									
70	平成29年度調布市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	81	調布市市民プラザあくろすの指定管理者の指定について																									
71	平成29年度調布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	82	調布市監査委員の選任について(玉木 國隆氏)																									
72	調布市高齢者住宅条例及び調布市市営住宅条例の一部を改正する条例	83~86	調布市固定資産評価審査委員会委員の選任について(松澤 博氏、柴田 亮子氏、谷治 博史氏、市瀬 富三氏)																									
73	調布市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例																											
74	調布市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	87	調布市教育委員会委員の任命について(奈尾 力氏)																									
		88・89	人権擁護委員の候補者の推薦について(増田 弘子氏、櫻井 一成氏)																									
75	調布市立自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	90	調布市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例																									
76・77	市道路線の認定について																											

**議会改革に
取り組んでいます**

市議会では、「市民にわかりやすく開かれた議会」の実現に向け、継続的に議会改革に取り組んでいます。

平成29年11月28日に開催した議会運営委員会で、議会改革に関する事項として次の2点の実施を全会一致で決定しました。

○全員協議会のインターネット中継の実施

全員協議会は、全議員に報告が必要な案件や議会内部で意見統一を図る場合などに開催されます。本会議・常任委員会などに加え、今回の開催から全員協議会も視聴が可能となります。

○政務活動費の領収書をホームページに公開

収支内訳・収支報告に加え、新たに平成28年度(28年4月1日から29年3月31日)分の領収書のコピーを公開しました。

詳細は市のホームページから「市議会」→「平成28年度政務活動費収支報告」をご覧ください。

引き続き、市民への情報提供の充実に取り組んでいきます。

編集後記



第4回定例会初日の開会前に2回目となる議場コンサートを行いました。演奏の御協力をいただきました桐朋学園の学生を初め、関係者の皆様に感謝申し上げます。今後も、市民の皆様が市議会の場に気軽に足を運んでいただけますよう取り組んでまいります。(広報委員一同)